

2011年（平成23年）

ハタハタ情報 No.2

平成23年10月27日発行

中央水産試験場 資源管理部

Tel : 0135-23-8707 Fax:0135-23-8709

－後日にインターネットからもご覧いただけます－↓

マリネット北海道 : <http://www.fishexp.hro.or.jp/exp/central/index.html>

水試調査船北洋丸によるトロール調査（留萌沖）の結果を報告します。

【調査期間】 2011年10月15日～10月24日

【調査海域】 留萌沖の水深180～280mの海域5調査点でトロールを曳網しハタハタの採集試験を行いました。計41尾（0歳魚を除く）の標本を採集し、体長測定などを実施しました。

- 採集状況は1マイル曳網あたり平均3.9尾と前月の調査と同様に少ない。
- 1歳魚（2010年級）が全体の約66%を占める。
- 成熟は2歳魚で遅め、1歳魚は例年並みで進行。沿岸前浜への来遊は11月中～下旬が目安。

1. ハタハタの分布状況（図1）

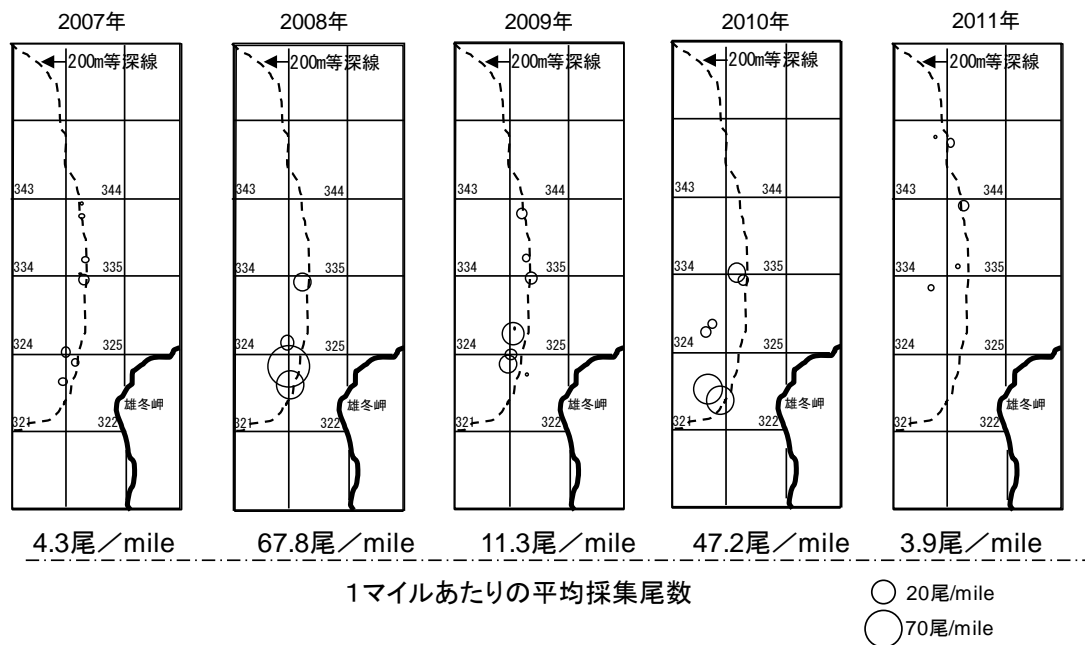


図1 10月トロール調査による採集尾数

（注：2009年までは中央水試おやしお丸による調査結果）

今回の調査は荒天に阻まれ、毎年実施している325海区南側から321海区の漁場を曳網することができませんでしたが、それより北側の海域における採集尾数は過去3年に比べ著しく少なく、1マイルあたり平均3.9尾と、前月の調査に続き少ない分布密度でした。

2. ハタハタの魚体サイズと年齢 (図2)

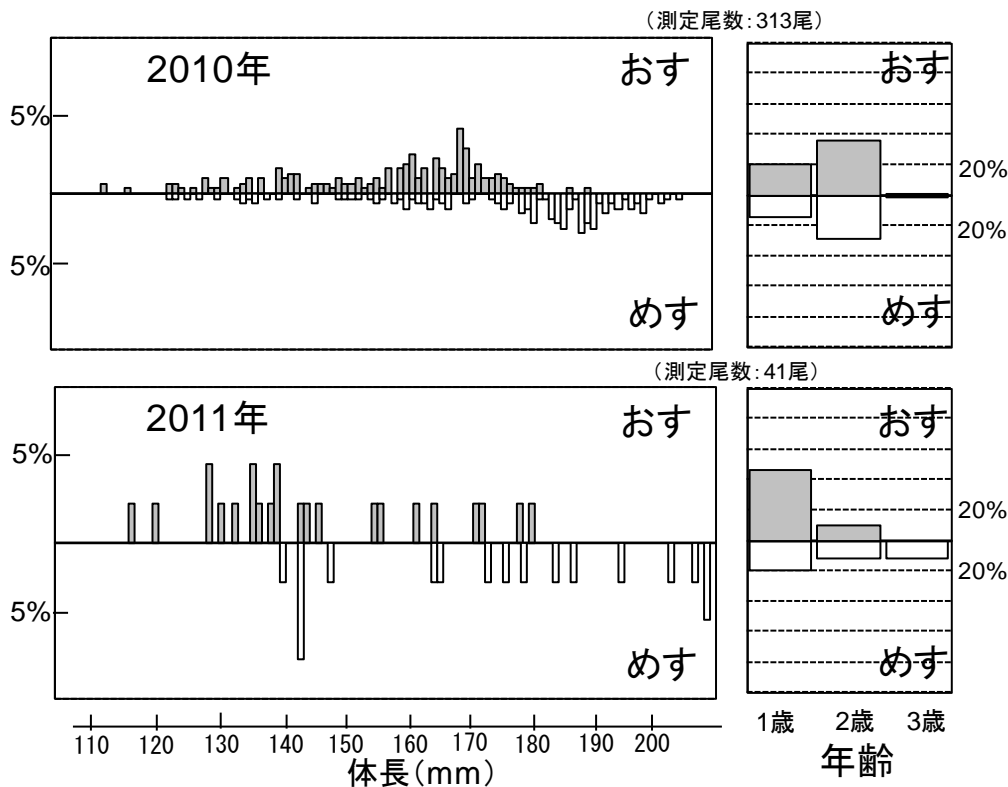


図2 今回の調査で採集されたハタハタの体長組成と年齢組成
上段図: 昨年(2010年)調査 下段図: 今回の調査

今回の調査で採集されたハタハタの体長は、雄では体長150mm以下の割合が多く、雌では大型魚も採集されました。年齢組成は前月の調査結果(ハタハタ情報 No.1)と同様に雌雄とも1歳魚(2010年級群)の割合が全体の約66%を占めました。前月の調査では2歳以上の雌の採集がありませんでしたが、今回の調査では体長170~190mm範囲の2歳魚(2009年級群)、200mm以上の3歳魚(2008年級群)も採集され、全体的には大型魚から小型魚までがまばらに見られるような状況でした。雄では1歳魚が主体となりそうですが、雌では、大型魚、小型魚の割合は同程度となるのではないかと考えられます。

3. 成熟状態 (図3)

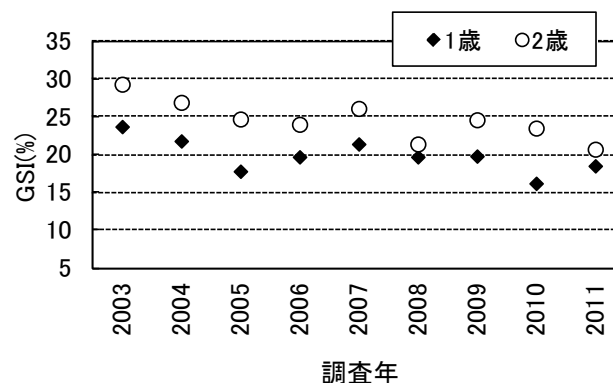


図3 毎年10月下旬のハタハタ雌のGSI (GSI=卵巣重量/内蔵除去重量×100)

ハタハタは成熟状態（生殖巣の発達状態）が進むにつれ、南下し沿岸にて産卵することが知られています。雌の体重に占める卵巣重量の割合（GSI）は産卵が近づくにつれて大きくなり、沿岸に来遊する頃には40前後の値となります。今回の調査で採集されたハタハタ雌のGSIは、1歳魚で18.5%、2歳魚で20.7%でした。2歳魚については近年の傾向と同様に成熟が遅れておりますが、1歳魚については昨年同時期よりは成熟が進んでいる状況でした。これらの結果と過去の沿岸来遊時期の関係から、今年の沿岸への来遊時期は、今後の海況などにも影響されますが、ここ数年の傾向と同様に11月中旬～下旬にかけての時期が目安と考えられます。

4. 水温（図4）

今回の調査の中で行ったCTDによる雄冬沖の表層から底層にかけての水温測定結果を、昨年同時期の値と併せて示しました。表層から50m付近までは、猛暑となった昨年よりは低めとなっておりますが、それより150m付近までは昨年よりやや高めの水温となっております。これは前月の調査結果と同様の傾向でした。ハタハタの分布する底層付近では前年、あるいは例年の傾向と大きな違いはありません。

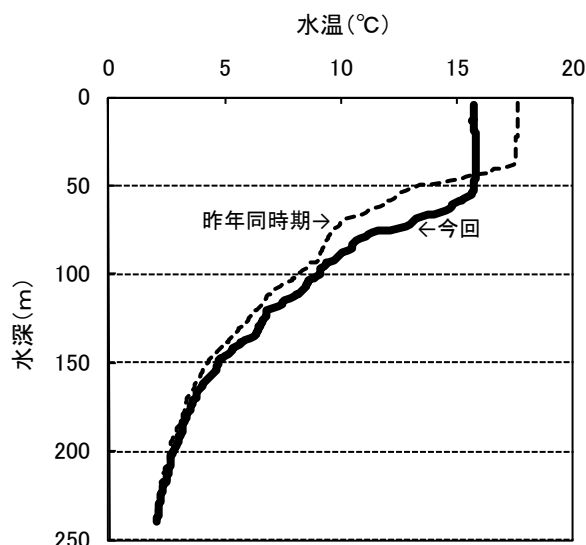


図4 雄冬沖の水温分布

5. 今後の調査など

今年度の雄冬沖における調査船によるトロール調査は終了です。関係漁業者の皆様、調査へのご配慮ありがとうございました。今後は、各漁業による漁獲物の標本採集調査などを実施いたしますので、重ねてご協力よろしくお願いたします。